

地球温暖化対策

基本的な考え方

地球温暖化対策は、東邦ガスグループにおける重要な経営課題の一つです。エネルギー事業者として、お客さま先を含めた地球温暖化対策に取り組んでいます。

自社のCO₂排出原単位の削減はもとより、お客さま先でのCO₂排出抑制に向けて環境行動目標を設定し、環境性に優れたエネルギーの供給や、他燃料からの天然ガス・LPGへの燃料転換、燃料電池などの高度・高効率利用機器の普及促進を行っています。また、地域と連携した再生可能エネルギー活用などの推進、メタネーションやCO₂回収・活用・貯留をはじめとする技術開発・実証など幅広い取り組みを推進し、2050年のカーボンニュートラル実現に挑戦します。

● バリューチェーンの環境負荷

バリューチェーン全体では、都市ガス・LPG・電力の製造・供給などの「事業活動」のほか、「原料調達先」や「お客さま先」の各段階で、CO₂などの温室効果ガスの排出をはじめとする環境負荷が発生します。

ガス事業においては、温室効果ガス排出量の多くは「お客さま先」が占めることから、当社グループではその抑制に取り組んでいます。

バリューチェーンの温室効果ガス排出量



また、「原料調達先」に関しては温室効果ガス排出状況を把握し、環境への負荷を評価しています。「事業活動」に関しても、エネルギー利用効率化、省エネなどによる温室効果ガス排出量の抑制に努めています。

● お客さま先における地球温暖化対策

事業活動を通じたCO₂削減貢献量为目标に掲げて取り組みを進めています。

● 天然ガスへの転換

天然ガスは、燃焼時におけるCO₂およびNO_xの排出量が化石燃料の中で少なく、SO_xも発生しない環境性に優れたエネルギーです。お客さま先で使用されている燃料を、石油などから天然ガスへ転換し、温室効果ガスや大気汚染物質の排出抑制に貢献しています。

● 高効率ガス機器・システムの普及

燃料転換と合わせて、お客さま先の設備に高性能なバーナなどを導入することで、CO₂排出量のさらなる抑制につなげています。



ガスエンジンコージェネレーションシステム



貫流ボイラ

また、一般家庭向けには家庭用燃料電池システム「エネファーム」、業務用にはガスコージェネレーションシステム、高効率ボイラ、ガスヒートポンプ(GHP)空調など、エネルギー利用効率の高い機器・システムの普及を進めています。

● 事業活動でのCO₂削減

エネルギー事業者として事業活動のあらゆる場面で省エネに配慮した取り組みを推進しています。

各事業分野にて省エネ設備投資の推進や運用管理の徹底を図っています。

● 都市ガス工場における取り組み

都市ガス工場では、マイナス160℃程度のLNG(液化天然ガス)を海水と熱交換することで気化させてガスを製造しており、製造時のエネルギー効率が極めて高い製造方法を採用しています。

また、LNGの持つ冷熱エネルギーを、冷熱発電や隣接する工場でのドライアイス・液体窒素等の製造、LNGタンクで発生するBOG(ボイルオフガス)を再液化する装置などに有効利用しています。

さらに、工場間の相互バックアップや、在庫調整を目的としたパイプラインなどを工場間の送ガス量調整にも活用しています。これらを通じて、各LNG工場の運転効率性が全体最適となるような運用方法の見直しを実施し、さらなるエネルギー使用量の削減を図っています。



地球温暖化対策に関わる取り組み
詳細はWebサイトをご参照ください。

https://www.tohogas.co.jp/corporate/eco/pdf/2025toho_web_global-warming.pdf